

年表

| 時代 | 山口大学創世期 | 県域事項 | 国内・海外事項 |
|--------------|--|---|--------------------------------|
| 1719 享保4 | 萩藩6代藩主毛利吉元、萩に明倫館を創建。1.12 創立時、似閑本多数を伝写する。(山口県立図書館に現存) | 徳山藩再興。毛利元堯家督相続。5 | 1716年(享保元年) 徳川吉宗、征夷大將軍になる。 |
| 1727 享保10 | | 河野養哲死去し、家宅が稽古場となる(越氏塾の創設)。9 | |
| 1767 明和4 | | 三田尻の稽古場、越氏塾に。 | |
| 1769 明和6 | 上田茂右衛門(鳳陽)、萩藩の下級藩士宮崎猪兵衛在政の三男として生まれる。 | | ジェームス・ワットが新方式の蒸気機関を開発。 |
| 1776 | | | アメリカ独立宣言。 |
| 1779 安永8 | 毛利重就、滝鶴台の権白をもとに明倫館の仕法をあらため、文武興隆・人材抜擢をはかる。3 | 越氏塾、三田尻上ノ町に移る。 | |
| 1785 天明5 | | 徳山藩校鳴鳳館創設。5 | |
| 1800 寛政12 | 上田鳳陽、明倫館に入学。11 9年間に在学。 | | フランス革命。(1789.7.14~1794.7.27) |
| 1809 文化6 | | 熊毛郡三丘の穴戸氏が、郷学徳修館を設立。6 | |
| 1814 文化11 | | 大野毛利氏が弘道館を創立する。4 製糸・織機の技術者を萩に招き、婦女子に伝習させる。 | イギリスのステブンソンが蒸気機関車の運転。 |
| 1815 文化12 | 上田鳳陽、山口講堂設立。4.15 藩主斉熙、氷上山興隆寺参詣の途中、山口講堂における門弟18名の勉学を視察。4.19 | | ワーテルローの戦い-ナポレオンがセント・ヘレナ島へ流される。 |
| 1816 文化13 | 上田鳳陽、萩明倫館に再入学。8 | | |
| 1817 文化14 | | | イギリス船が浦賀に来航。 |
| 1822 文政5 | | 霍乱病(コロリ)流行。死者1000余人にのぼる | |
| 1823 文政6 | | 徳山藩校鳴鳳館内に医学館が設置される。岩国領で「家中古文書纂」が編集される。 | |
| 1825 文政8 | | 萩藩で戸籍仕法の改正 | 異国船打払令 |
| 1826 文政9 | | シーボルトが江戸参府途中で下関を訪れる。1 女流俳人菊舎尼が死去。8 | |
| | | | シーボルト事件 |
| 1830 天保元 | | 吉田松陰生まれる。8 | |
| 1831 天保2 | | 天保の大一揆(11月鎮静)。7 村田清風、江戸当役用談役となる。10 | |
| 1832 天保3 | | 村田清風、改革綱領執筆、以後の天保改革の基本となる。2-3 | |
| 1833 天保4 | | 木戸孝允生まれる。6 防長両国で夏以来風雨洪水が発生し、損害高5万7003石余に及ぶ。 | 天保の大飢饉。 |
| 1835 天保6 | | この年もまた風雨洪水が発生し、損害高13万7百石余に達す。 | アメリカのモールスが電信機を発明 |
| 1836 天保7 | | 萩藩主毛利斉元死去。9 斉元を継いだ斉広も死去。12 風雨洪水の損害高は27万7千石余にまで増大する。 | |
| 1837 天保8 | | 毛利敬親、第14代藩主就任。 | 大塩平八郎の乱。2 |
| 1838 天保9 | | 村田清風、藩政改革に着手。 | |
| 1839 天保10 | | 高杉晋作生まれる。8 | |

明
倫
館

山口講堂

| 時代 | | 山口大学創世期 | 県域事項 | 国内・海外事項 |
|--------------|--|---|---|---|
| 山口講堂 | 1840 天保11 | 村田清風、明倫館の拡充を藩主に建言。 | 村田清風、「流弊改正意見」を藩庁へ提出 萩藩、天保改革を発令。7 下関の越荷方を拡張する。11 萩南苑内に医学所を設置、青木周蔵を蘭書翻訳掛とする。11 | アヘン戦争(～1842) |
| | 1841 天保12 | | 伊藤博文生まれる。9 防長風土注進案の編集始まる。1 幸判ごとに学校を建設させる。2 | 水野忠邦、天保改革に着手。 |
| | 1842 天保13 | | 玉木文之進、松下村塾を起こす。 諸郡村ごとに「風土注進案」の録上を命ずる。 上田鳳陽、防長風土注進案の山口幸判を編集。 | 幕府、異国船打払令を緩和。 南京条約、香港割譲。 |
| | 1843 天保14 | | 村田清風、大津郡三隅に郷学尊聖堂を設立する。 | |
| | 1844 弘化元 | | 村田清風退陣、坪井九右衛門実権を握る。6 | オランダ国王幕府に開国を勧告。 |
| 明倫館 山口講習堂 | 1845 弘化2 | 山口講堂を山口講習堂と改称。1 | 青木周蔵を長崎に派遣、海外事情・防御の法を検討させる。10 厚狭毛利元美が郷学朝陽館を再興。 | 米船来航。2 英船来航。7 学習院、京都に設置。12 |
| | 1846 弘化3 | | 萩藩、戸籍法を改正。7 | |
| | 1847 弘化4 | | 坪井派後退、改革による取締り再強化。 萩藩、西洋書翻訳掛をおく。2 岩国養老館開校。5 | |
| | 1848 嘉永元 | 村田清風、明倫館再興用掛となる。9 | | この年、佐久間象山洋式野戦砲をつくる。品川に砲台を築く。 |
| | 1849 嘉永2 | 明倫館萩市江向へ拡張移転。2 萩南苑の医学所を明倫館に移し、済生堂と改称。 | 萩藩内で初の種痘実施。10 | |
| | 1850 嘉永3 | 医学所済生堂を好生館と改称、新築落成。6 | | |
| | 1851 嘉永4 | | | 水野忠邦死去。2 太平天国の乱(～1864) |
| | 1853 嘉永6 | 上田茂右衛門(鳳陽)没(85歳)12.8 | この年、洪水早ばつ被害大。損害高20万7千石余に。 ペリー艦隊の浦賀来航に際し、萩藩大森に出兵。6 | ペリー浦賀に来航して開国要求。 露船下田に来航。6 オランダ商館長、幕府に開国を勧告。8 |
| | 1854 嘉永7 | | 吉田松陰、金子重輔と共に下田で米艦に密航をはかり失敗。3 | ペリー再来航。1 日米和親条約。 日英和親条約締結。8 日露和親条約締結。12 |
| | 1855 安政2 | | 村田清風死去。5 周布派に代わって、坪井・椋梨派が改革綱領を出す。8 萩藩に西洋学所開設。9 | 江戸大地震。12 日蘭和親条約締結。12 |
| | 1856 安政3 | | 洋式軍艦丙辰丸が萩小畑で建造される | ハリス下田に来航。7 |
| | 1857 安政4 | | 吉田松陰、松下村塾をおこす。 | ハリスと下田条約を結ぶ。 |
| | 1858 安政5 | 萩明倫館より島田清吉・平田源吾の両名を山口講習堂へ教育掛として派遣。8 | 藩政府員交代、坪井派に代わって周布派登場。6 藩政改革綱領決定。諸村諸商人免札仕法を出す。8 吉田松陰投獄。12 萩、上ノ原に反射炉を築く。 | 徳川家茂14代将軍となる。5 日米修好通商条約調印。6 安政の大獄はじまる。9 天津条約 |
| | 1859 安政6 | 山口講習堂の稽古方経費を明倫館の経費より支出。1 明倫館助教山県半蔵を山口講習堂へ派遣して諸事を統率させる。(明倫館の管轄下へ組み込まれる) | 薩長交易成立。2 藩、西洋学所を博習堂と改称、拡張。8 吉田松陰、江戸伝馬町で処刑。8 | |
| | 1860 万延元 | 藩の学制改革に伴い、山口講習堂で洋式銃陣の操練を実施する。1.12 山口講習堂に練兵場を新設する。8 山口講習堂を藩政府の直轄とし、その教官は明倫館助教と兼任し、総てを明倫館の学制によることになる。11 | 越氏塾、三田尻上ノ町から船頭町北側に移転・拡充、藩学に準ずる。 萩藩、兵制を洋式に改革する。 この年、諸幸判に郷学校を建て、農兵訓練を発令。 | 勝海舟ら咸臨丸で渡米。 桜田門外の変(井伊直弼暗殺)。3 |
| 1861 文久元 | 明倫館直轄後初の山口講習堂稽古式。1.12 山口講習堂を中川原から亀山の東麓(長山)へ拡充・移転。9 11月より授業開始 明倫館内の好生堂を萩瓦町に新築移転。好生堂あとに博習堂を移す。 | 長州藩、航海遠略策の藩是を定める。3 長井雅楽、航海遠略策を朝廷に説く。5 萩上津江に火薬製錬場を設置、山口天花にも設置する。 | 米、南北戦争(～1865) | |

| 時代 | | 山口大学創世期 | 県域事項 | 国内・海外事項 | |
|-------------|-------------|--|---|---|--|
| 明倫館 | 山口講習堂 | 1862 文久2 | 3月、長井雅楽、改めて航海遠略策を朝廷に建白。5月却下。 高杉晋作、長崎より上海に着く。4 7月帰着。 高杉晋作ら英公使館を襲う。12 | 坂下門外の変。1 皇女和宮降嫁。寺田屋騒動。4 生麦事件。8 独、ビスマルクの執政開始。 | |
| | | 1863 文久3 | 大村益次郎が明倫館兵学寮総官・教授として山田顕義等普門寺塾(別名三兵塾)生に対し士官教育を行う。 山口講習堂を山口明倫館と改称。従来の明倫館を萩明倫館に。11. 26 山口講習堂での小学教育を制度化、教諭役高橋真作宅を藩が借り上げ開校。後、山口県師範学校敷地に移転。 | 薩英戦争。 米、リンカーンの奴隷解放宣言。 八月一八日の政変。 | |
| | | 1864 元治元 | 山口明倫館文学寮を本学寮・漢学寮の二部に分ける。7 萩明倫館内の洋学館博習堂を山口博習堂と合併。7 山口明倫館の学業・訓練中止。10.25 山口明倫館兵学寮を萩に移す。11 山口明倫館廃止。12.12 | 三田尻越氏塾を学習堂と改称。2 大村益次郎の建議で、製鉄所を阿武郡川上の亀ヶ瀬に設置。5 京都池田屋事件。6 井上聞多・伊藤俊輔らイギリスより帰国。6 京都で禁門の変(蛤御門の変)が勃発、久坂玄瑞・来島又兵衛ら戦死。 英仏米蘭四国連合艦隊、下関を砲撃。8 周布政之助自刃。9 藩政の主導権が保守派(恭順派)に移る。 高杉晋作下関で挙兵。12 | 禁門の変(蛤御門の変)。 第一次長州征伐。 |
| | 1865 慶応元 | 一旦廃業となった、山口明倫館文学寮所管の小学舎を再開。山口町奉行の所管とし土庶の別なく入学を許可する。3 山口明倫館復興。4 毛利敬親父子、山口明倫館で文武研修の要を訓示。5 高録の士の子弟教育のため山口明倫館に学舎を特設(成器塾)。11 | 美祿郡で大田・絵堂の戦いが始まる。1 「武備恭順」の藩是決定。軍制改革開始。3 木戸孝允・高杉晋作馬関で越荷方管掌。8-9 越荷方拡大。 | 幕府、第二次長州征伐発令。 | |
| | 1866 慶応2 | 文学寮歩兵塾騎兵塾砲兵塾小学舎諸会定日を定める。1.18 兵学寮三兵学科塾規則を定める。1.23 成器塾を拡張しその教育は世子元徳の親裁と定める。3.22 山口明倫館の経費、年額米2千石と定める。12.8 | 赤根武人、山口鰐石河原で処刑。1.28 木戸孝允、西郷隆盛らと薩長同盟を結ぶ。1 蔵版局、長防臣民合議書を36万部印刷し、藩内に頒布する。3 四境の役開戦。6 | 将軍家茂が死去 一橋慶喜、15代将軍。 長州征伐中止。 | |
| | 1867 慶応3 | 県下に郷校を設置。4 郷校を明倫館に附属させる。 萩明倫館50周年記念祭を山口明倫館で行う。5.25 | 高杉晋作死去。4 加藤有隣、山口市金古曾に私塾詠帰塾を創設。9 | 大政奉還。10 明治天皇即位。1 「ええじゃないか」おこる。8 王政復古大号令。12 | |
| | 1868 明治元 | 鷹司淳丸・壬生胤丸、山口明倫館成器塾で修学。3 長崎から英語通訳伊藤弥次郎を招き、山口明倫館兵学寮に英学科を新設。6 明倫館を文学・兵学の2寮にわけける。 | 鳥羽・伏見で幕府軍と戦い、以後戊辰戦争に出兵。1 藩治職制による改革着手。11 | 鳥羽伏見の戦 五箇条の御誓文。3.14 戊辰戦争開始。新政府、開国和親を布告。1 江戸開城。4 江戸を東京と改称。 | |
| | 1869 明治2 | 明倫館の小学規則などを制定し学制を改革する。1 | 長薩土肥の藩主とともに版籍奉還を建白。1 毛利敬親隠居し、元徳が家督相続、山口藩知事に就任。6 山口藩人口戸数を朝廷に上申。戸数11万5768戸、人口50万7819人。 大村益次郎死去。11 諸隊反乱(脱隊騒動)おこる。百姓一揆あいついでおこる。 | 版籍奉還。6 東京遷都。 戊辰戦争終結。 スエズ運河開通。 | |
| | 1870 明治3 | 中小学規則の公布により萩明倫館を萩中学に山口明倫館を山口中学と改める。11.13 諸郡の郷校を小学と改称、山口中学の管轄になる。 仏人クローゼにより仏学の講義。8 | 反乱諸隊指導者処刑。2 議事館を藩庁と称し、以後常備軍編成・禄制改革すすむ。 舟木石炭局に英人モーリスを招聴し、洋式採炭技術を導入。5 山口藩で藩治の職制を改革、政事堂を藩庁と民事局を郡用局と改称、大属等の諸役をおく。10 | 普仏戦争。(～1871) 平民に苗字を許す。9 | |
| | 萩中学 | 山口中学 | 1871 明治4 | 山口中学に独人ベルリンを雇いドイツ学伝習所を開設する。2.10 山口中学に外国人教師英人ダルナー夫妻を招聘する。11 | 徳山藩を廃し、山口藩に合併。6 廃藩置県で山口県・豊浦県・清東県・岩国県の4県を設置。7 4県を改め山口県を置く。萩・岩国・赤間関に支庁を置く。11 山口藩庁を山口県庁と称す。7 |
| 1872 明治5 | | | 大学所定中小学規則に準拠し本校学科過程改正案を定める。3 文部省布達13号をもち従来旧藩の学校は廃止。山口中学は学規変更のため一旦停止する。9 | 山口・萩・岩国・豊浦の4中学区を置き、各々に変則中学を設ける。 | 学制制定。8 新橋・横浜間鉄道開業。9 太陽暦を採用。11 |

参考資料

山口大学図書館所蔵

| |
|--------------------------------------|
| 山口高等商業學校沿革史 / 山口高等商業学校 [編] |
| 山口大学三十年史 / 山口大学30年史編集委員会編 |
| 山口高等学校史：鴻南に羽搏く |
| 明治維新と山口市 / 山口移鎮百年記念祭実行委員会編 |
| アーカイブズガイド：山口県文書館所蔵：開館50周年記念 / 山口県文書館 |
| 増補防長人物誌 |
| 防長近世史談 |
| 防長史講和 |
| 山口県人物・史蹟・名勝及び天然記念物アルバム |
| 吉敷教育史 |
| わが鴻南の日々 / 旧制山口高等学校開校六十周年記念事業会編 |
| 花なき山の… / 鳳陽会編 |
| 絵図で見る毛利の風景 / 毛利博物館編 |
| 近世藩校の総合的研究 / 笠井助治著 |
| 経営参謀村田清風 / 霜月一生著 |
| 鴻の峰40年 |
| 山口県の教育史 / 小川國治, 小川亜弥子共著 |
| 山口県教育史 / 山口県教育会編纂 上下 |
| 山口県郷土史 / 内山薫著. — 歴史図書社, 1978. 下 |
| 山口県百科事典 / 山口県教育会編 |
| 山口市史 各説篇 / 山口市史編纂委員会編 |
| 山口市史 通史篇 / 山口市史編纂委員会編 |
| 人物を中心とした教育郷土史 |
| 図説山口県の教育100年：学制発布100周年記念 / 山口県教育委員会著 |
| 図説山口県の歴史 / 八木充責任編者 |
| 大内村誌 / [山口県大内村編纂] |
| 長州閩の教育戦略：近代日本の進学教育の黎明 / 永添祥多著 |
| 長門國守護厚東氏の研究及び史料 / 川副博著 |
| 奮発震動の象あり：防長教育史の人びと / 松野浩二著 |
| 防長風土注進案 / 山口県文書館編修 |
| 幕末長州藩の人びと / 石原 啓司著 |
| 柳桜をこきまぜて：旧制山口高等学校外史 / 東京鴻南会編 |
| 學都山口と上田鳳陽 / 山口大學經濟學部鳳陽會編 |
| 榎野の流れ / 毎日新聞山口支局編 |
| ホウヨウ先生をさがせ！ |

山口県文書館所蔵

| | |
|--------------------|---------|
| 山口講堂劍館射術場并検使固屋共地差図 | 毛利家文庫絵図 |
| 山口長山稽古場差図 | 毛利家文庫絵図 |
| 御賞美先例 | 毛利家文庫 |
| 幕末山口市街図 | 藩政文書絵図 |



上田鳳陽碑(左)と服部東陽碑(右) (山口市宮島町)

創基 200 周年
山口大学の来た道 ↑
—山口講堂から山口中学へ—

2010年 発行
2013年 改訂
山口大学



—創基200周年—

「志」つなぎ 伝える 二百年